

因島出身、JAMSTECの吉梅剛さん

# しんかい6500 潜航長務め

## 驚異の謎に満ちた深海の世界活写

昨年、尾道で開かれた「海フェスタ」で深海調査研究船「かいれい」を西御所岸壁に停泊、一般公開した横須賀市、独立行政法人海洋研究開発機構(JAMSTEC)が所有する、世界に誇る有人潜水調査船「しんかい6500」のオペレーターの一人は因島出身。その吉梅剛さんが自身の活動を書き下ろした自叙伝『ぼくは「しんかい6500」のパイロット』が9日、こぶし書房(東京・文京区)から刊行される。

【幾野伝】



吉梅剛さん

「しんかい6500」の整備士兼パイロットを経て、94年から「しんかい6500」の整備士兼パイロット、2009年から同潜航長を務めた。現在は探査機運用グループで自律型深海巡航探査機などの運用業務に携わっている。

「しんかい6500」は長さ9m、空中重量267t、乗組員3人。最大潜航深度が6500mである。

「しんかい6500」の整備士兼パイロットを経て、94年から「しんかい6500」の整備士兼パイロット、2009年から同潜航長を務めた。現在は探査機運用グループで自律型深海巡航探査機などの運用業務に携わっている。

「しんかい6500」の仕組みや食事、トイレはどうするの?といった素朴な疑問に答える形で、319回に亘る潜航体験で出合った、驚きと謎に満ちた深海の光景、驚異の生き物達が棲息する深海の世界を活写している。

修業時代から初潜航した思い出、潜水船の操作方法、支援母船での航海生活のようすなどを力



ぼくは「しんかい6500」のパイロット

なっている。09年に「しんかい6500」に搭乗したことがあるミュージシャンでタレントの中川翔子さんは「ありえない奇妙な生き物がいっぱい! 深海に行った人は、宇宙に行った人の数より少ない! 最先端の科学と人類の勇氣で、毎日のように発見されてゆく深海の不思議に興味深々!」と帯に推薦文を寄せている。

### 尾道管工事 ボランティア活動 協同組合

#### 約50人が市道のゴミ収集に汗

尾道管工事協同組合(新高山1丁目、戸田則雄理事長)では、6日午前8時頃から尾道大橋取付道路から新高山の事務所付近の道路沿いを清掃した。組合としてはじめての試みで、約50人が梅雨らしい蒸し暑さのなかで歩道や路側帯に捨てられたゴミを拾い、分別もめた。ゴミは業者に引き渡される。

一旦停止線の近くでは、ベットボトルや空き缶など投げ捨てられたものも多く、「ようけあるもんじゃのお」とぼやきながら清掃の意義を実感していた。

### 創業支援総合

#### 開業、融資、補助金、

新しくビジネスを始めようと考えている方や、開業して間もない方、第

### 今年も赤頭巾云わせてもらっせー

悪いが、もう来季のことを考えよ!!

ちろん、思い切った契約金も用いながら、思い切った契約金も用い



があまりにアツサリすぎているから、皮肉なものでストレスがない。◇去年は9月2日以降、5勝18敗という大失速があり、CS進出を逃したが、せめて7月もダメならこの9月をなんとかと、あきらめてはいないし(本心)、ここで今年もBクラスと公言してしまおうと、球団に対して監督以下選手に対しても、失礼であろう。ただ球団も、もう来季のことを考えたほうがいい。なにが足らないのか、どこを改革したらいいのか、他球団の外国人選手が大活躍しているのを見ると、在米カープスカウトの眼力に疑いを持つ。も